

自治研 11

かながわ

1979
11

No. 26 特集 79衆院選の結果を分析する



神奈川県地方自治研究センター

79衆院選本県の開票結果

79. 10. 7 投票（選管確定）

1 区		定数4・立候補8				
当	74,863	伏木	木和	雄三	公自	前
当	73,134	小此	藤彦	茂三	社自	前
当	66,198	伊藤	藤彦	隆輔	民共	新
当	58,568	三浦	圭之	隆輔	民共	新
◎	56,987	陶山	圭之	隆輔	民共	新
◎	45,185	工藤	秀紀	隆輔	民共	新
×	9,506	田上	秀紀	隆輔	民共	新
×	1,641	小杉	秀紀	隆輔	民共	新

〔投票総数〕 389,857 〔有効投票〕 386,082
〔投票率〕 46.98% 〔無効投票〕 3,775

2 区		定数5・立候補8				
当	114,768	市川	雄誠	一郎	公自	前
当	113,977	田川	誠一	郎	自共	前
当	105,125	小泉	純雅	弘男	民共	元
当	104,246	中岩	垂壽	喜男	社民	前
◎	103,856	岩垂	壽正	喜男	社民	前
◎	94,240	小山	川本	泰治	民共	新
×	4,139	山原	正治	泰治	民共	新
×	1,562	原	正治	泰治	民共	新

〔投票総数〕 647,511 〔有効投票〕 641,913
〔投票率〕 53.38% 〔無効投票〕 5,598

3 区		定数3・立候補6				
当	123,389	小浜	新次	吉方	公自	元
当	110,137	加藤	新次	吉方	社自	前
当	100,682	戸沢	利本	方正	自共	前
◎	99,936	甘利	本間	正彦	自共	前
◎	73,433	増東	間	彦徴	民共	元
×	2,965	東	間	彦徴	民共	元

〔投票総数〕 515,421 〔有効投票〕 510,542
〔投票率〕 58.07% 〔無効投票〕 4,879

4 区		定数4・立候補6				
当	120,285	大出	俊郎	社自	前	
当	109,800	佐藤	一	俊郎	自共	前
当	98,317	草野	高	威望	公民	前
当	91,227	高野	高	威望	公民	前
◎	88,018	石母	田合	達武	民共	元
◎	61,943	石川	合	武	民共	元

〔投票総数〕 573,789 〔有効投票〕 569,591
〔投票率〕 54.26% 〔無効投票〕 4,198

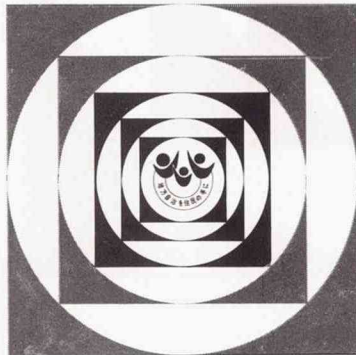
5 区		定数3・立候補5				
当	101,177	河野	洋平	自共	前	
当	88,439	河村	善勝	之	民自	前
当	84,234	亀井	善剛	之	社自	新
◎	83,517	平林	剛	之	民自	前
◎	41,963	岡村	共	剛	民共	新

〔投票総数〕 402,935 〔有効投票〕 399,330
〔投票率〕 63.41% 〔無効投票〕 3,605

〔注〕 「◎」は法定得票数に達した者。
「×」は供託金を没収される者。

自治研究 11

No. 26 特集 79衆院選の結果を分析する



神奈川県地方自治研究センター

もくじ CONTENTS

〔79総選挙の結果を分析する〕

多党化の定着と脱政党層の動向

中央大学教授 横山桂次…… 3

はじめに …………… 3

1. 全国的傾向 …………… 3

2. 神奈川県下の趨勢 …………… 5

3. 脱政党層の動向 …………… 8

4. 社会党の今後の課題 …………… 10

公開シンポジウム

“「地方の時代」を点検する” 参加要請 …………… 11

資料Ⅰ 衆院選党派別得票の推移 …………… 12

資料Ⅱ 70年代の衆院選政党別行政区別得票の
推移 …………… 13

資料Ⅲ 各種選挙の政党別得票の推移 …………… 18

編集後記 …………… 19

〔 79 衆院選の結果を分析する 〕

多党化の定着と脱政党層の動向

中央大学教授 横 山 桂 次
(神奈川県地方自治研究センター代表理事)

はじめに

今回の総選挙は、安定過半数の271議席を確保しようとした自民党にとっては「大敗」であった。慥かに前回より1議席減という数字からみれば「大敗」とはいえない。だが、55年の保守合同いらい四半世紀にわたって長期政権を維持してきた自民党が、支配政党として、経済社会の歴史的転換期を乗りきるために、必要な安定過半数の獲得に失敗したという意味で「大敗」なのである。先の総裁選、東京サミットなどの余勢をかい、統一地方選挙や新聞等の世論調査にあらわれた「保守復調の兆し」を最も有効に利用できるかと判断してこの時期を選んだにもかかわらずである。選挙のリーダーシップは完全に自民党主流派に握られていた。国民の反撃を受けるに違いない増税政策—政策がどの程度選挙に影響を与えるかの問題はあるにせよ—をあえて事前に提起するほど自信に満ち、野党もまったく無視されていた。それだけにこの敗北は自民党にとって大きなショックであったといえよう。

自民党はもはや派閥間の対抗と均衡では政権党たりえなくなったことを、今回の選挙は明らかにした。こうして自民党・財界・官僚の三位一体による55年体制は、ようやく終焉に近づきつつあるといつてよい。思えば、今日の構造的政治腐敗や

政党政治の衰弱などにみられる民主政治の停滞は長期単独保守政権に原因があるといっても過言ではない。そこには政党政治はあっても政党制としては機能していなかった。政党間の政権交替という基本的ルールが定着していないからである。その責任はもちろん野党側にもある。とりわけ野党第一党の社会党に政権奪取の気概と運動—態勢づくり—がみられなかったことは残念である。

ともあれ、今後の政党政治をやや長期的にみれば、自民党の一党支配から政党連合へと移行するであろう。さしあたって中道といわれる政党のどれかが自民党を補強することになるであろうが、それが長期化するか、革新的政権の成立を早めるかは社会党の力量いかに関わっているといつてよい。ここでは、これまでの選挙にあらわれた傾向を要約し、政治革新の課題に触れてみたい。

1. 全国的傾向

得票率でみる限り、戦後2番目の低投票率にもかかわらず、いや、かえって低投票率だからこそというべきだろう、自民党が他党を圧していた。しかも前回と比べ2.8%の増加で44.6%を占めた。他で増えたのは民社の0.5%に過ぎないのである。しかし絶対得票率（有権者数に対する各党の得票率・絶対支持率ともいう）でみると、72年、76年、79年の3回の総選挙の傾向では自民党は保守系無

表1. 党派別当選者数(全国)

党派	計	婦人	前	元	新	前回
自民	248	1	201	19	28	249
社会	107	2	84	11	12	123
公明	57	0	50	2	5	55
民社	35	0	24	1	10	29
共産	39	7	16	14	9	17
新自ク	4	0	3	0	1	17
社民連	2	0	2	0	0	0
諸派	0	0	0	0	0	0
無所属	19	1	7	3	9	21

合計 511 11 387 50 74 511

所属をかりにいれても36.2%→33.8%→32.6%と遞減傾向をみせている。したがってこの数字からは「保守復調の兆し」は読みとれない。

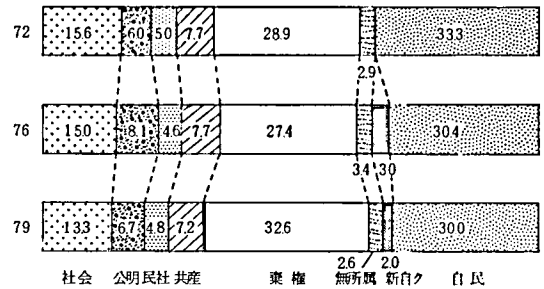
ちなみに自民党の絶対得票率の低下は大都市での落ちこみが大きく作用していて、保守的な地方都市、農村地域ではむしろ増加さえしているのである。

社会党の絶対得票率の推移をみると15.6%→15.0%→13.3%で、自民党と同様の低落傾向を辿っている。しかもその割合は自民党以上に大きいことが注目されよう。都市類型別にみても農村型15.5%、準農村型14.6%、地方都市型14.0%、大都市型10.3%でいずれも低下傾向にある。これは議席率にも反映し、農村型選挙区ではほぼ前回なみであるが、他はすべて減少し、とりわけ大都市型選挙区では第四党に転落している。

共産党は7.7%→7.7%→7.2%で議席を倍以上に増加させたにもかかわらず、支持率は明らかに停滞を示していることがわかる。ということは前回候補者を立て過ぎ、新自クのブームによって比較的依存度の大きい浮動層を奪われたということである。都市類型別にみても農村型3.7%、準農村型5.8%、地方都市型7.9%、大都市型9.9%で社会党と同様どのタイプの選挙区でも低下を示している。同党の場合は工業地域と農村地域での支持が対照的になっていて、公明党と共に都市型政党の性格を明確にしている。

公明党も停滞を示している。6.0%→8.1%→6.7%で、都市類型別にみると農村型1.6%、準農

図1. 70年代の総選挙 党派別絶対得票率(全国)



村型5.1%、地方都市型6.7%、大都市型10.8%で農村地域で低下しているもの大都市地域では変わらない。だが公明党について注目したいのは大都市地域での支持率が自民党とならんだことである。

民社党の絶対得票率は5.0%→4.6%→4.8%とほとんど変わっていない。都市類型別では農村型2.6%、準農村型5.2%、地方都市型5.3%、大都市型4.9%で傾向としては都市地域では変わらないが農村地域でやや増加を示していることがわかる。

以上は全国的傾向の概観であるが、問題は選挙ごとに浮動する脱政党層(無党派)、棄権層の動向である。とりわけ今回大都市地域で大量に棄権した層の動向が、多党化の定着したこの地域で各党の趨勢を規制する大きな要因になることは間違いない。この層にどう対応するかが各党の大きな課題であることはいうまでもない。

2. 神奈川県下の趨勢

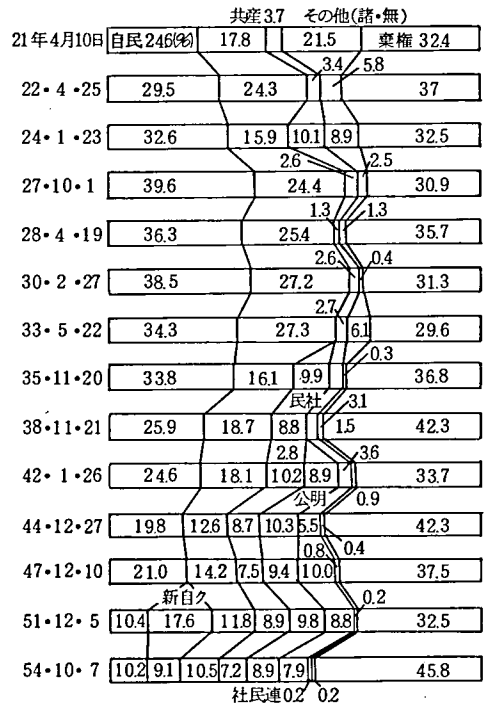
まずはじめに総選挙ごとの各党の絶対得票率の推移を、戦後第1回から今回まででみると次のようになる。60年代に入ると、それまでの自民・社会の二大政党の対抗から多党化へと進み、70年代以降それが定着したということ、しかも一方で棄権率が常に5割以上を占め、今回は5割に近づいたことがわかる。つまり脱政党化の中の多党化の定着が明確になったわけで、それはとりもなおさず政党政治の衰弱を示しているのである。もっとも、

多党化は定着したが、その中では一貫して低下傾向を辿る保守（自民・新自ク）のシェアは、新自クの半減にもかかわらず依然として2割近くを占め優位にある。今回は棄権が異常に多く、あとで触れるようにその動向によって現実の得票率は変わるが、傾向としてみる限り絶対支持率の動きに沿うから、この数字は神奈川県においても自民党・社会両党の低減と公明・民社・共産三党の停滞を示しているといつてよい。

次に75年4月以降の県会および衆・参両院選挙結果から各党のシェアの推移をみると、県会の方が国会選挙をかなり上回るのは自民党で、その逆の型は公明党である。社会党は自民党に近かったが両者の差が縮まってきた。共産党はまだ公明党に近い型である。社会党を都市別にみると横浜・川崎では衆・参両院選挙が県会選挙に及ばないことを示しているが、藤沢と相模原では県会の方がかなり劣っている。また、総選挙における社会党退潮傾向のなかで本県の実社会党は前回より得票率を伸ばしているが、県議選では低調が目立ち、とりわけ相模原ではそれが著しい。

ところで、これまで3回の総選挙の結果から社会党の趨勢を、絶対得票率と得票率の変化から追

図2. 党派別絶対得票率



(注1) 昭和21年分は5名連記制のため、総得票数に対する比率から算出
 (注2) 昭和30年2月総選挙までは保守票合計を自民に、社会党は左右を合わせて算出
 (注3) 無効票は棄権の中に含めた
 朝日新聞、神奈川県版 1979. 10. 9

図3-1 75年以降各種選挙の政党別得票率推移

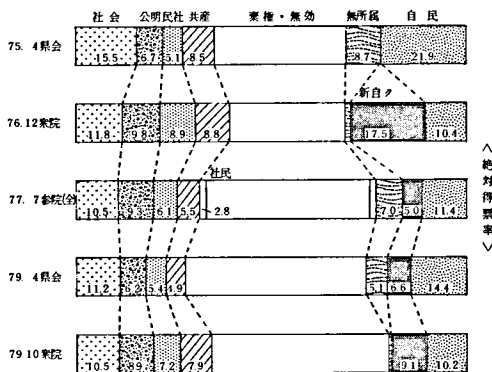
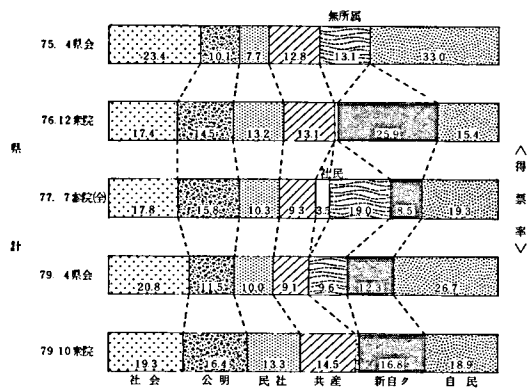


図3-2 同絶対得票率



ってみよう。絶対得票率が5%以上も落ちているのは1区と4区である。それに応じて得票率も著るしく低下しているが、今回は絶対得票率の下降にもかかわらず前回比では得票率は落ちなかった。それは2,3区にもみられることで、おそらく積極的支持層もしくは組織票を投票所に向わせた運動によるものであろう。しかし5区の場合は、絶対得票率も得票率も前回より増加しているにもかかわらず落選した。その理由は自民党の絶対得票率および得票率が社会党を上回って著増したからである。それだけ自民党の運動が社会党を圧倒した

ということであろうか。

都市別に気のついた点をあげると、全般的に社会党の低落傾向の中で、絶対得票率および得票率をあげているところが目につく。3区の海老名は72年より1.5%、0.4%上昇させたが、これは市議選と一体になった運動の効果ではなかろうか。5区では中井、山北、開成、愛川の4町と清川村が同じ傾向を示している。また、絶対得票率ではやや落ちているものの、得票率で72年より増加しているのは2区の横須賀、三浦、葉山の3市で大都市の低調さと対照的である。同様に5区では小田

図4.〔神奈川県一区〕

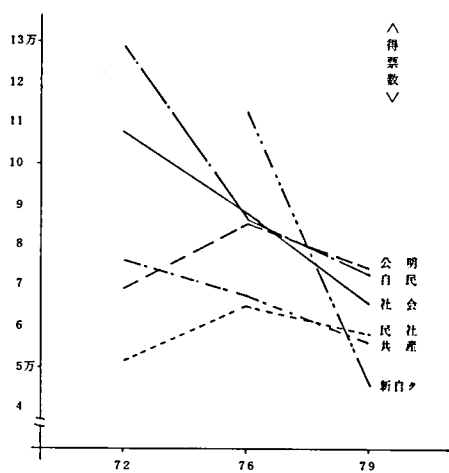
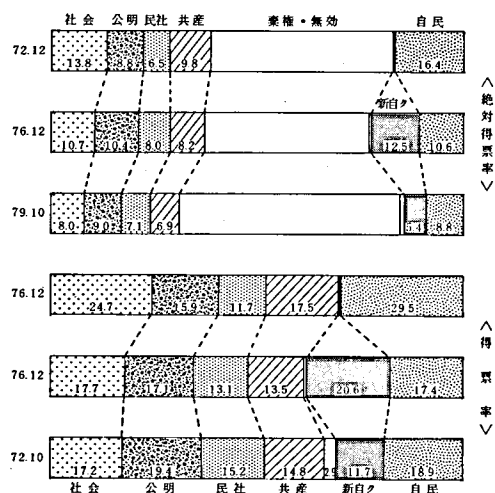
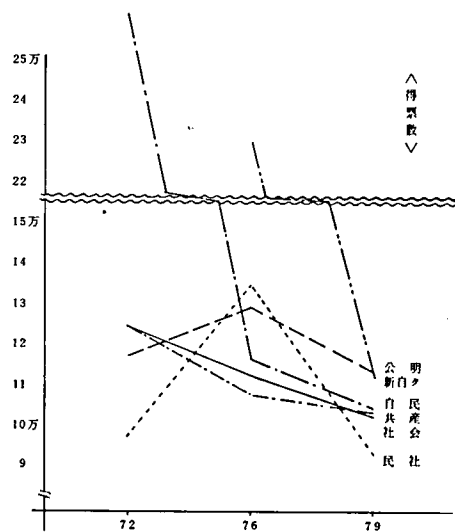
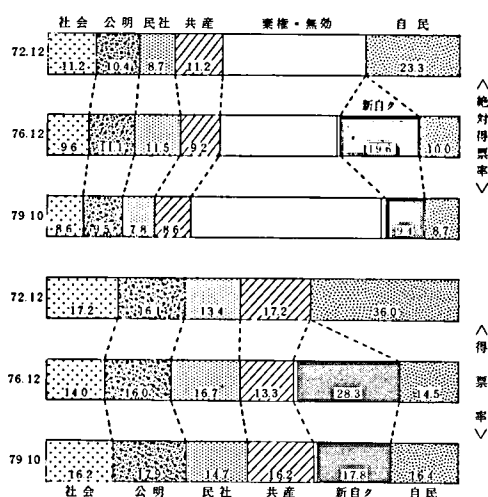


図5.〔神奈川県二区〕



原，厚木，南足柄の3市と大井，松田，真鶴，湯河原の4町があげられる。（資料2参照）

共産党も傾向としてはほぼ社会党と似ていて大都市での低落，一部小都市での上昇を示している。上昇の目立つのは3区の海老名市と城山，津久井，相模湖，藤野の4町，5区では秦野市と中井，開成，箱根，湯河原，愛川の5町である。

3. 脱政党層の動向

脱政党化が進み，無党派層の動向が選挙結果に大きな影響を及ぼす事例としてとくに注目されたのは前回の総選挙であった。これについて私は既に「月刊自治研」210号で取上げたが，今回選挙の新聞データを加えて再度検討してみたい。脱政党層（無党派+無関心）は67年で28.8%（9.4%+19.4%），69年で29.8%（11.4%+18.4%），72年で33.9%（15.5%+18.4%），76年には38.2%（20.2%+18.0%）と年ごとに増えてきたが，無関心層（DK層）はほとんど変わらないから，増えたのは無党派（支持政党なし層）である

図6.〔神奈川県三区〕

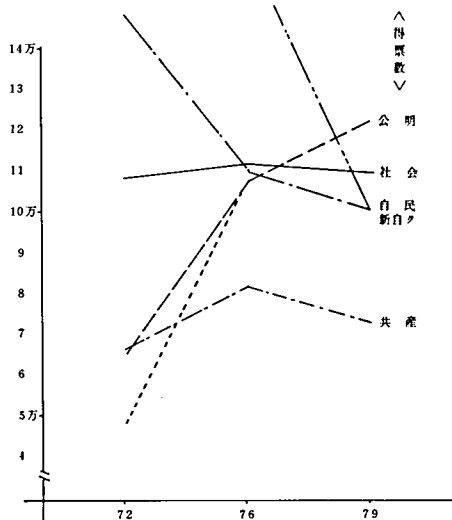
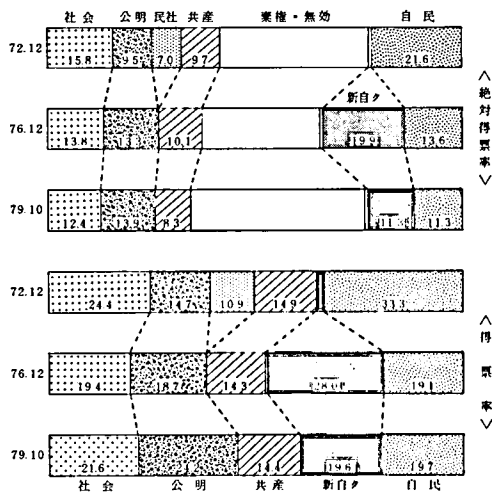
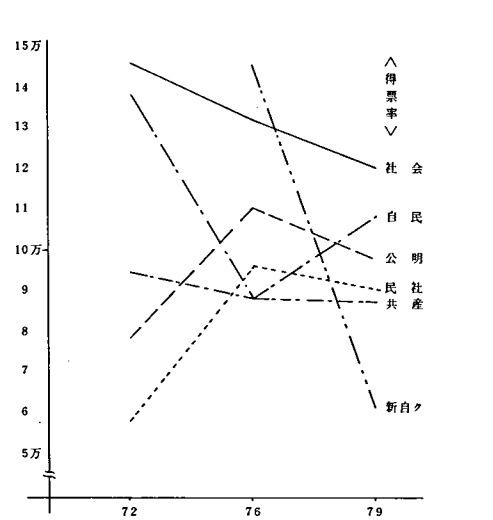
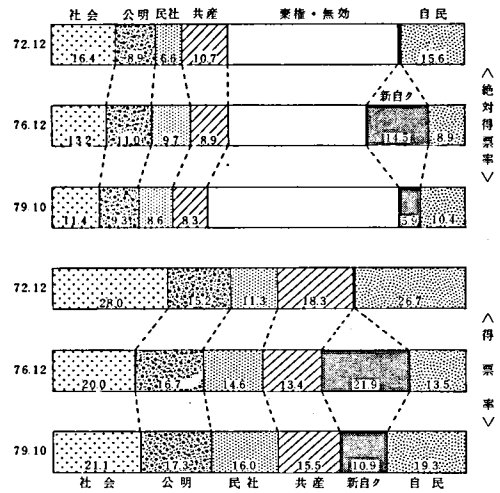


図7.〔神奈川県四区〕



ことがわかる。

無党派はおよそ2つのタイプに分けられる。第1は政治に関心をもちながら、かえって不信感を強めたり、あるいは政権交替がないという閉塞的状况にシラケてしまった層である。前々回の選挙でこの層がかなり共産党支持に回ったことが明らかにされた。第2のタイプは生活志向が強く、自己の生活を中心に政治に対応し政党を選択する層である。このタイプは住民運動や市民運動に典型的にあらわれているように、イデオロギーのない革新志向として特徴づけられよう。63年以降、大

都市圏および地方拠点都市における革新自治体の増加について、この層の支持に負うところが大きかったことはすでに明らかにされている。前々回の地方選挙の分析を通して、従来の保守・革新の境界があいまいになったことが指摘されたが、それはこのような無党派の増大と関連するのであろう。いずれにしても無党派、とりわけ自主的に政党を選択する層は今後とも増加する傾向にあるとすれば、革新政党にとってこの層をどうつかむかが主要な課題の一つになる。

次に脱政党層が前回選挙で各党の得票率にどの

図8. (神奈川県五区)

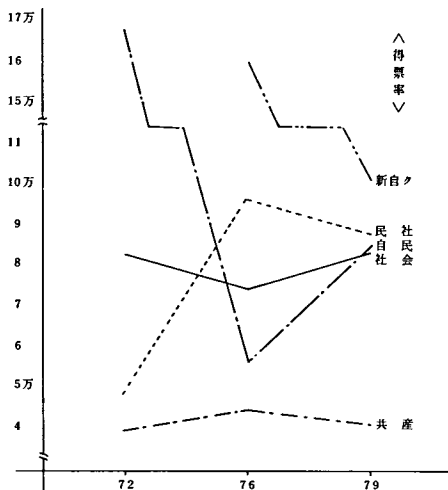
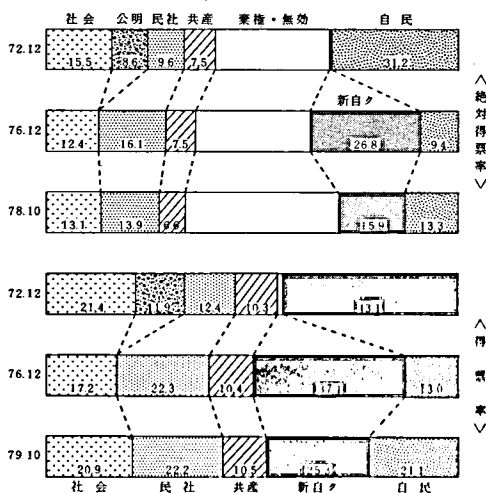
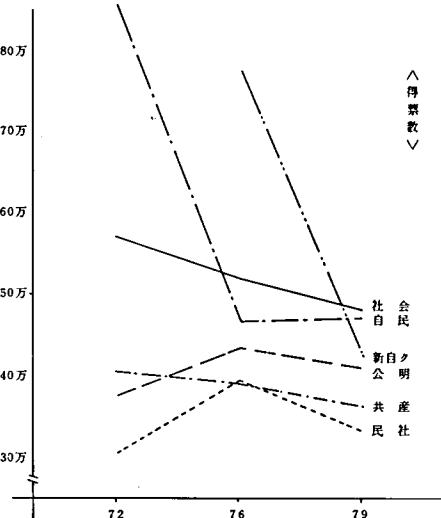
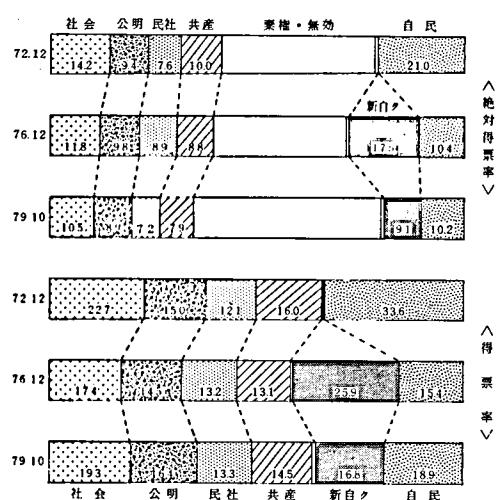


図9. 衆院選得票率の推移(神奈川県計)



程度寄与したかをみよう。まず脱政党層を100とし、それが各党にどう配分されたかを前々回と比較してみると自民（46.9%→41.3%）、社会（23.4%→22.1%）、共産（9.7%→11.8%）公明（4.6%→5.1%）、民社（8.0%→6.1%）、新自ク（5.6%）、無所属（7.4%→8.0%）と変化している。これで見ると脱政党層の6割以上が自民・社会両党に流れていることがわかる。農村型選挙区では自民党は55%、社会党は20%を占めるのに対し他党は2ないし4%に過ぎない。しかし、大都市型選挙区になると脱政党層も多党化を呈する。すなわち、自民24%、社会19%、共産23%、公明・新自ク各8%、民社7%で、それは大都市における多党化と脱政党層の増大と見合っている。

また、各党の得票率を100とし、その中で自党支持層・他党支持層および脱政党層の占める割合をみると、自民（68.6%、10.7%、20.7%）、社会（66.4%、11.2%、22.4%）、公明（71.3%、13.5%、15.2%）、共産（53.4%、18.0%

%, 28.6%）、民社（47.4%、27.5%、25.0%）、新自ク（35.6%、32.4%、31.1%）となっている。自党支持層の割合の小さい新自ク、民社、共産の各党は他党支持層および脱政党層に依存する割合が大きいことになる。前回選挙において得票の6割以上をそれらに依存した新自クが、他党、とりわけ脱政党層の比重の大きい共産党に打撃を与えたであろうことは推測できる。

今回の選挙では一般的に、前回自民党を離れて新自ク支持に回った票が今回は棄権に回って自民党へは帰らなかった、といわれている。しかし神奈川県ではかなり自民党に戻ったのではなかろうか。

新聞資料によれば、無党派の政治的態度にはさらに次のような特徴が指摘されている。まず「政党への関心」を政党支持層別に比較してみると、自民58%、社会50%、公明38%（但し参加度は高い）、共産61%、民社60%に対し、無党派は32%にとどまっているが、この数字はむしろ当然というべきであろう。次に「政治への関心」では自民57%、社会52%、公明65%、共産59%、民社74%に対し無党派は44%で、政党支持層と較べるとかなり高いといえよう。逆に、「政治に無関心」で見ると自民38%、社会43%、共産41%、公明・民社それぞれ20%台に対し無党派は50%を占めている。ここでは「政治への関心」と合せてむしろ社会・共産支持層の無関心の比率がかなり高いことが注目されよう。

投票に際しての浮動性は各党支持層にみられるが、その割合はかなり異っている。「その都度投票する政党を決める」割合は、無党派が最も高く63%、次いで新自ク60%、社民連57%、社会・共産はそれぞれ40%台、自民・民社は各30%台、公明支持層が最も低く24%で、いわゆる「歩溜り」が一番高い。だが、投票にあたって浮動する幅には違いがある。最も幅広く動くのは無党派で「拒否政党なし」が31%を占めているが、他の政党支持層は20%台と縮まる。たとえば共産党を拒否政党とする割合は自民・民社・公明はそれぞれ50%

図10. 75年以降各種選挙の党派別得票数の推移

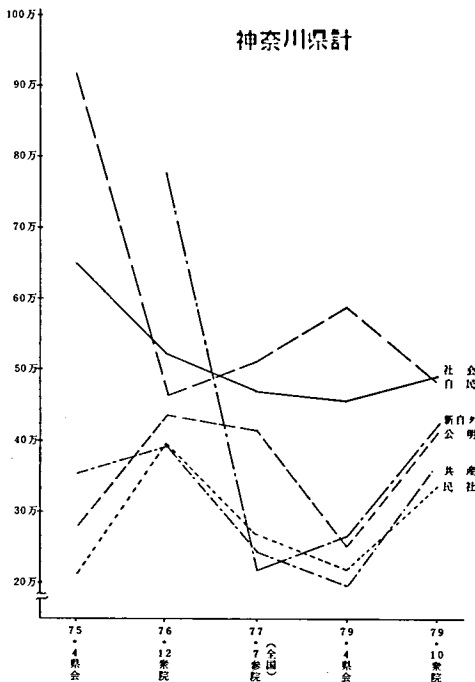


表2. 支持政党とその意識動向

設 問	支持政党						
	支持率	自 民	社 会	共 産	公 明	民 社	無 党 派
		42	13	2	4	3	34
政党とつながりないが関心はある	58%	50%	61%	38%	60%	32%	
政治に関心を持っている	57	52	59	65	74	44	
政治に関心を持たぬ	38	43	41	20※	20※	50	
いつも同じ政党に投票する	63	54	51	74	61	27	
投票する政党はその都度決める	33	41	45	24	30※	63	

79 作成
・9・13は不明のもの
付朝日新聞記事より

以上、社会で29%あるのに対し無党派は24%で最も少い。最後に無党派の「投票政党」を「投票した人一般」と較べてみると次のようになる。自民へ49% (60%)、社会へ28% (21%)、公明へ6% (7%)、共産へ7% (5%)、民社へ4% (4%)で一般的傾向より「革新的」であり、それも「社会党寄り」であることがわかる。(データは朝日新聞、1979・9・13)。以上は全国平均の傾向である。

そこで、数字の遊びになるが、各選挙区の今回の投票率を前回なみにあげ、その分をすべて無党派とみなし、前述の大都市における無党派の配分比率(修正)を自民27%、社会19%、共産23%、公明8%、民社7%、新自ク5%の割で各党に配分してみると当選順位は次のように変る(カッコ内は今回の順位)。1区・自民, 社会, 公明, 共産(公明, 自民, 社会, 民社), 2区・自民, 共産, 社会, 公明, 新自ク(公明, 新自ク, 自民, 共産, 社会), 3区・公明, 自民, 社会(公明, 社会, 自民), 4区・社会, 自民, 共産, 公明(社会, 自民, 公明, 民社), 5区・新自ク, 自民, 社会(新自ク, 民社, 自民)。これで見ると自民党はすべての選挙区で議席を占めることに変わらないが、社会党は5区で、共産党は1区と4区でそれぞれ議席を増やし、民社党は1区、4区および5区で議席を失うことになる。その結果、県下の議席配分は自民5, 社会5, 公明4, 共産3, 新自ク2, 民社0になる。もちろん選挙は候補者の資質や知名度、選挙運動、政治・経済状況その他の要因に

影響をうけるからこうなるとは限らないが、今回は無党派がかなり棄権したとみられ、それが間違っていないとすれば棄権の影響を最も強く受けたのは共産党、次いで社会党ということになる。民社党は逆に棄権の効果を最大限に受けたことになる。

4. 社会党の今後の課題

以上が今回の総選挙までの政党の対抗状況の要約であるが、最後に低落・停滞を続ける革新政党とりわけ野党第一党の社会党が、影響力を拡大し、政治革新のリーダーシップをとるための課題について付加しておきたい。第1は、エネルギーを中心とする国際経済の激変と平和問題をふまえ、わが国の将来をどう構想するかといった基本的問題と関連することであるが、地域政策の策定作業を急がなければならない。さしあたって「中期経済計画」を組織的に討議・検討し、地域計画にまで具体化することである。第2は、そうした作業を地域レベルで地域政策運動として展開することである。それは地場産業・農業・流通・消費生活などの地域経済、住宅・道路・交通・上下水道・公園・運動場・市民会館などの都市施設、教育・医療・福祉などのサービス、自然環境の問題等々を内容とする地域づくり運動とあってよい。各自治体内の小地域集会、自治体単位の市民集会、自治体を横断するブロック集会等を党のリーダーシップによって積上げることである。それに参加する

のは国会および地方議員をはじめ研究者、自治労（地区労）、住民団体などで地域の住民に呼びかける。その準備作業として地域の諸問題を正確に把握し住民に事前に情報として提供しなければならないことはいうまでもない。こうした運動はまた、地域づくりの軸となる住民参加の条件をつくることになり、参加・分権・自治への要望を聞くことになる。この運動は着手できるところからモデル地域を設けて始めればよい。

第3は、消費者運動、住民運動、婦人運動等々

地域の多様な運動に党が積極的にアプローチすることである。これらの運動を観念的に批判したり、遠ざけたりするのではなく、運動の内容を具体的に知ることから始めなければならない。日常生で多様な問題を抱えている地域住民は、その日常生活を通して政治をみる傾向が強まっている。そうした住民を引き寄せる方法として、国会議員にまでいわゆる「ドブ板議員」の効用が説かれるのだが、革新政党にとっての「ドブ板」とは以上のような地域に密着した政策運動にはかならないと思う。

公開シンポジウム

“「地方の時代」を点検する”を開催

主催 { 革新県政をすすめる学者文化人の会
神奈川県地方自治研究センター

と き 12月8日(土) 午後2時～4時30分

ところ 神奈川県民ホール 6階会議室

内容 2:00 開会あいさつ

2:15～3:15 問題提起

1. <革新とは何か> 遠藤輝明
(横浜国立大学)

2. <地方の時代と女性> 久場嬉子
(東京学芸大学)

3. <革新と勤労者意識> 滝沢正樹
(関東学院大学)

4. <新しい社会システムと地域> 新田俊三
(東洋大学)

3:15～4:30 討 論

(総合司会) 風間 龍(関東学院大学)

多数の会員の皆様のご参加をお願いします。

選挙区	年 度	総 数			社 会 党			公 明 党			民 社 党			共 産 党			自 民 党			新自由クラブ			無所属・その他		
		A有権者数	B有効投票	有効投票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率
一 区	79	829,924	386,082	46.5	66,198	17.2	8.0	74,863	19.4	9.0	58,568	15.2	7.1	56,987	14.8	6.9	73,134	18.9	8.8	45,185	11.7	5.4	11,147	2.9	1.3
	76	816,846	496,840	60.8	87,790	17.7	10.7	85,040	17.1	10.4	64,982	13.1	8.0	67,133	13.5	8.2	86,685	17.4	10.6	102,390	20.6	12.5	2,820	0.6	0.3
	72	783,943	436,654	55.7	107,806	24.7	13.8	69,374	15.9	8.8	51,150	11.7	6.5	76,615	17.5	9.8	128,851	29.5	16.4	-	-	-	2,856	0.7	0.4
四 区	79	1,057,487	569,590	53.9	120,285	21.1	11.4	98,317	17.3	9.3	91,227	16.0	8.6	88,018	15.5	8.3	109,800	19.3	10.4	61,943	10.9	5.9	-	-	-
	76	1,003,315	663,459	66.1	132,473	20.0	13.2	110,497	16.7	11.0	96,829	14.6	9.7	88,880	13.4	8.9	89,324	13.5	8.9	145,455	21.9	14.5	-	-	-
	72	885,300	519,017	58.6	145,414	28.0	16.4	78,876	15.2	8.9	58,486	11.3	6.6	95,008	18.3	10.7	138,348	26.7	15.6	-	-	-	2,885	0.6	0.3
二 区	79	1,213,076	641,913	52.9	103,856	16.2	8.6	114,768	17.9	9.5	94,240	14.7	7.8	104,246	16.2	8.6	105,125	16.4	8.7	113,977	17.8	9.4	5,701	0.9	0.5
	76	1,177,661	813,830	69.1	113,615	14.0	9.6	130,298	16.0	11.1	135,658	16.7	11.5	107,999	13.3	9.2	117,698	14.5	10.0	230,647	28.3	19.6	4,915	0.6	0.4
	72	1,122,170	727,180	64.8	125,221	17.2	11.2	117,213	16.1	10.4	97,572	13.4	8.7	125,177	17.2	11.2	261,997	36.0	23.3	-	-	-	-	-	-
三 区	79	887,634	510,590	57.5	110,137	21.6	12.4	123,389	24.2	13.9	-	-	-	73,433	14.4	8.3	100,682	19.7	11.3	99,936	19.6	11.3	2,965	0.6	0.3
	76	815,719	578,180	70.9	112,209	19.4	13.8	108,182	18.7	13.3	-	-	-	82,525	14.3	10.1	110,585	19.1	13.6	162,029	28.0	19.9	2,650	0.5	0.3
	72	694,910	449,614	64.7	109,771	24.4	15.8	65,987	14.7	9.5	48,982	10.9	7.0	67,133	14.9	9.7	149,832	33.3	21.6	-	-	-	7,909	1.8	1.1
五 区	79	635,509	399,330	62.8	83,517	20.9	13.1	-	-	-	88,439	22.2	13.9	41,963	10.5	6.6	84,234	21.1	13.3	101,177	25.3	15.9	-	-	-
	76	600,156	433,979	72.3	74,633	17.2	12.4	-	-	-	96,649	22.3	16.1	45,107	10.4	7.5	56,509	13.0	9.4	161,081	37.1	26.8	-	-	-
	72	537,522	389,375	72.4	83,173	21.4	15.5	46,310	11.9	8.6	48,454	12.4	9.0	40,112	10.3	7.5	167,832	43.1	31.2	-	-	-	3,494	0.9	0.7
県 計	79	4,623,630	2,507,457	54.2	483,993	19.3	10.5	411,337	16.4	8.9	332,474	13.3	7.2	364,647	14.5	7.9	472,975	18.9	10.2	422,218	16.8	9.1	19,606	1.1	0.4
	76	4,413,694	2,986,288	67.7	520,720	17.4	11.8	434,017	14.5	9.8	394,118	13.2	8.9	391,644	13.1	8.8	460,801	15.4	10.4	774,603	25.9	17.5	10,385	0.3	0.2
	72	4,027,845	2,521,840	62.6	571,388	22.7	14.2	377,760	15.0	9.4	304,644	12.1	7.6	404,045	16.0	10.0	846,859	33.6	21.0	-	-	-	17,144	0.7	0.4
横 浜 市 計	79	1,887,411	955,672	50.6	186,483	19.5	9.9	173,180	18.1	9.2	149,795	15.7	7.9	145,005	15.1	7.7	182,934	19.1	9.7	107,128	11.2	5.6	11,147	1.2	0.6
	76	1,820,162	1,160,299	63.7	221,263	19.1	12.2	195,537	16.9	10.7	161,811	13.9	8.9	156,013	13.4	8.6	176,009	15.2	9.7	247,846	21.4	13.6	2,820	0.2	0.1
	72	1,673,243	955,671	57.1	253,223	26.5	15.1	148,250	15.5	8.9	109,636	11.5	6.6	171,623	18.0	10.3	267,198	28.0	16.0	-	-	-	5,741	0.6	0.3
川 崎 市 計	79	707,825	360,866	51.0	65,750	17.7	9.3	73,722	20.4	10.4	45,886	12.7	6.5	71,319	19.8	10.1	51,094	14.2	7.2	51,598	14.3	7.3	3,497	1.0	0.5
	76	693,096	462,199	66.7	71,318	15.4	10.3	85,225	18.4	12.3	70,318	15.2	10.1	74,501	16.1	10.7	55,544	12.0	8.0	101,593	22.0	14.7	3,219	0.7	0.5
	72	672,825	415,003	61.7	81,362	19.6	12.1	78,859	19.0	11.7	47,878	11.5	7.1	88,496	21.3	13.1	118,408	28.5	17.6	-	-	-	-	-	-
一 区 南 部 計	79	505,251	281,047	55.6	38,106	13.5	7.5	41,046	14.5	8.1	48,354	17.1	9.6	32,927	11.7	6.5	54,031	19.1	10.7	62,379	22.1	12.3	2,204	0.7	0.4
	76	484,565	351,631	72.6	42,297	12.0	8.2	45,043	12.8	9.3	65,340	18.6	13.5	33,498	9.5	6.9	62,154	17.1	12.8	129,054	36.7	26.6	1,696	0.5	0.3
	72	449,345	312,177	69.5	43,859	14.5	9.8	38,354	12.3	8.6	45,694	15.9	11.1	36,681	11.8	8.2	143,589	46.0	32.0	-	-	-	-	-	-

(4) 5 区

行政区	衆院選 執行月	総 数			社 会 党			公 明 党			民 社 党			共 産 党			自 民 党			新自由クラブ			無所属・その他		
		有権者数	有効投票	有効投票率	得 票	得票率	絶 对 得票率	得 票	得票率	絶 对 得票率	得 票	得票率	絶 对 得票率	得 票	得票率	絶 对 得票率	得 票	得票率	絶 对 得票率	得 票	得票率	絶 对 得票率	得 票	得票率	絶 对 得票率
平塚市	72.12	122,306	84,100	68.8	20,181	24.0	16.5	11,260	13.4	9.2	12,374	14.7	10.1	10,282	12.2	8.4	29,150	34.7	23.8	-	-	-	853	1.0	0.7
	76.12	136,718	95,814	70.1	16,163	16.9	11.8	-	-	-	21,733	22.7	15.9	10,456	10.9	7.6	13,975	14.6	10.2	33,487	35.0	24.5	-	-	-
	79.10	141,571	84,997	60.0	18,645	21.9	13.2	-	-	-	19,193	22.6	13.6	9,431	11.1	6.7	16,341	19.2	11.5	21,387	25.2	15.1	-	-	-
小田原市	72.12	116,076	87,737	75.6	19,381	22.1	16.7	10,553	12.0	9.1	11,944	13.6	10.3	8,686	9.9	7.5	36,477	41.6	31.4	-	-	-	696	0.8	0.6
	76.12	120,380	89,394	74.3	16,625	18.6	13.8	-	-	-	21,902	24.5	18.2	8,527	9.5	7.1	8,738	9.8	7.3	33,602	37.6	27.9	-	-	-
	79.10	122,276	79,585	65.1	18,235	22.9	14.9	-	-	-	20,155	25.3	16.5	8,067	10.1	6.6	11,593	14.6	9.5	21,535	27.1	17.6	-	-	-
秦野市	72.12	56,723	38,522	67.2	10,974	28.5	19.3	4,364	11.3	7.7	3,429	8.9	6.0	3,722	9.7	6.6	15,694	40.7	27.7	-	-	-	339	0.9	0.6
	76.12	69,544	48,556	69.8	10,493	21.6	15.1	-	-	-	9,449	19.5	13.6	5,999	12.4	8.6	4,781	9.8	6.9	17,834	36.7	25.6	-	-	-
	79.10	76,583	45,862	59.9	12,044	26.3	15.7	-	-	-	8,435	18.4	11.0	5,513	12.0	7.2	9,252	20.7	12.1	10,618	23.2	13.9	-	-	-
厚木市	72.12	61,188	43,279	70.7	6,300	14.6	10.3	4,581	10.6	7.5	4,617	10.7	7.5	4,686	10.8	7.6	22,580	52.2	36.9	-	-	-	515	1.2	0.8
	76.12	73,310	50,563	69.0	6,877	13.6	9.4	-	-	-	11,367	22.5	15.5	5,412	10.7	7.4	6,653	13.2	9.1	20,254	40.1	27.6	-	-	-
	79.10	85,719	46,175	53.9	7,350	15.9	8.6	-	-	-	10,430	22.6	12.2	5,134	11.1	6.0	12,273	26.6	14.3	10,988	23.8	12.8	-	-	-
伊勢原市	72.12	33,730	23,726	70.3	4,113	17.3	12.2	2,681	11.3	7.9	3,154	13.3	9.4	2,162	9.1	6.4	11,388	48.0	33.8	-	-	-	228	1.0	0.7
	76.12	41,657	30,643	73.6	4,103	13.4	9.8	-	-	-	5,877	19.2	14.1	2,937	9.6	7.1	6,323	20.6	15.2	11,403	37.2	27.4	-	-	-
	79.10	44,456	28,518	64.1	4,323	15.2	9.7	-	-	-	4,789	16.8	10.8	2,632	9.2	5.9	9,944	34.9	22.4	6,830	24.0	15.4	-	-	-
南足柄市	72.12	22,458	17,913	79.8	4,925	27.5	21.9	1,859	10.4	8.3	2,030	11.3	9.0	1,778	9.9	7.9	7,211	40.3	32.1	-	-	-	110	0.6	0.5
	76.12	25,430	20,195	79.4	4,977	24.6	19.6	-	-	-	4,128	20.4	16.2	2,013	10.0	7.9	1,728	8.6	5.8	7,349	36.4	28.9	-	-	-
	79.10	26,458	18,641	70.5	5,210	28.0	19.7	-	-	-	3,764	20.2	14.2	1,740	9.3	6.6	2,790	15.0	10.5	5,137	27.6	19.4	-	-	-
大磯町	72.12	18,948	13,691	72.3	2,759	20.2	14.6	1,542	11.3	8.1	2,089	15.3	11.0	1,634	11.9	8.6	5,512	40.3	29.1	-	-	-	155	1.1	0.8
	76.12	19,939	14,582	73.1	2,166	14.9	10.9	-	-	-	3,200	21.9	16.0	1,604	11.0	8.0	2,316	15.9	11.6	5,296	36.3	26.6	-	-	-
	79.10	20,641	12,764	61.4	2,432	19.1	11.8	-	-	-	2,778	21.8	13.5	1,463	11.5	7.1	2,898	22.7	14.0	3,193	25.0	15.5	-	-	-
二宮町	72.12	15,668	11,609	74.1	2,501	21.5	16.0	1,043	9.0	6.7	1,678	14.5	10.7	1,742	15.0	11.1	4,538	39.1	29.0	-	-	-	107	0.9	0.7
	76.12	17,180	12,988	75.6	2,034	15.7	11.8	-	-	-	3,042	23.4	17.7	1,707	13.1	9.9	1,855	14.3	10.8	4,350	33.5	25.3	-	-	-
	79.10	17,958	11,777	65.6	2,399	20.4	13.4	-	-	-	2,615	22.0	14.6	1,453	12.3	8.1	2,648	22.5	14.7	2,662	22.6	14.8	-	-	-
中井町	72.12	4,358	3,298	75.7	651	19.7	14.9	243	7.4	5.6	287	8.7	6.6	280	8.5	6.4	1,816	55.1	41.7	-	-	-	21	0.6	0.5
	76.12	5,102	3,881	76.1	623	16.1	12.2	-	-	-	729	18.8	14.3	364	9.4	7.1	645	16.6	12.6	1,520	39.2	29.8	-	-	-
	79.10	5,679	3,946	69.5	889	22.5	15.6	-	-	-	778	19.7	13.7	407	10.3	7.2	932	23.6	16.4	940	23.8	16.6	-	-	-
大井町	72.12	6,561	5,221	79.6	1,099	21.0	16.8	359	6.9	5.5	578	11.1	8.8	361	6.9	5.5	2,788	53.4	42.5	-	-	-	36	0.7	0.5
	76.12	7,397	5,805	78.5	1,116	19.2	15.1	-	-	-	1,489	25.7	20.1	472	8.1	6.3	667	11.5	9.0	2,061	35.5	27.9	-	-	-
	79.10	8,270	5,772	69.8	1,331	23.1	16.1	-	-	-	1,494	25.9	18.7	439	7.6	5.3	1,060	18.4	12.8	1,448	25.1	17.5	-	-	-

松田町	72.12	8,246	6,502	78.9	1,530	23.5	18.6	659	10.1	8.0	791	12.2	9.6	522	8.0	6.3	2,966	45.6	36.0	-			34	0.5	0.4
	76.12	8,523	6,675	78.3	1,425	21.3	16.7	-			1,720	25.8	20.2	593	8.9	7.0	724	10.8	8.5	2,213	33.2	26.0	-		
	79.10	8,678	6,093	70.2	1,537	25.2	17.7	-			1,655	27.2	19.1	546	9.0	6.3	1,189	19.5	13.7	1,166	19.1	13.4	-		
山北町	72.12	10,050	8,422	83.8	1,713	20.3	17.0	648	7.7	6.4	1,334	15.8	13.3	823	9.8	8.2	3,849	45.7	38.3	-			55	0.7	0.5
	76.12	10,026	8,354	83.3	1,636	19.6	16.3	-			2,175	26.0	21.7	808	9.7	8.1	678	8.1	6.8	3,057	36.6	30.5	-		
	79.10	9,978	8,060	80.8	1,758	21.8	17.6	-			2,215	27.5	22.2	761	9.4	7.6	1,414	17.5	14.2	1,912	23.7	19.2	-		
開成町	72.12	6,088	5,111	84.0	1,245	24.3	20.5	1,570	11.2	9.4	511	10.0	8.4	304	6.7	5.0	2,442	47.8	40.1	-			39	0.8	0.6
	76.12	6,754	5,506	81.5	1,391	25.3	20.6	-			1,221	22.2	18.1	420	7.6	6.2	553	10.0	8.2	1,921	34.9	28.4	-		
	79.10	7,074	5,164	73.0	1,538	29.8	21.7	-			1,258	24.4	17.8	424	8.2	6.0	825	16.0	11.7	1,119	21.7	15.8	-		
箱根町	72.12	14,568	10,692	73.4	1,581	14.8	10.9	1,801	16.8	12.4	956	8.9	6.7	588	5.5	4.0	5,678	53.1	39.0	-			88	0.8	0.6
	76.12	14,260	10,213	71.6	950	9.3	6.7	-			2,007	19.7	14.1	707	6.9	5.0	2,833	27.7	19.9	3,716	36.4	26.1	-		
	79.10	14,129	9,603	68.0	1,066	11.1	7.5	-			2,062	21.5	14.6	717	7.5	5.1	3,281	34.2	23.2	2,477	25.8	17.5	-		
真鶴町	72.12	7,044	5,589	79.3	1,003	17.9	14.2	1,051	18.8	14.9	629	11.3	8.9	518	9.3	7.4	2,315	41.4	32.9	-			43	0.8	0.6
	76.12	7,102	5,208	73.3	846	16.2	11.9	-			1,481	28.4	20.9	592	11.4	8.3	602	11.6	8.5	1,687	32.4	23.8	-		
	79.10	7,177	4,738	66.0	876	18.5	12.2	-			1,315	27.8	18.3	521	11.0	7.3	1,029	21.7	14.3	997	21.0	13.9	-		
湯河原町	72.12	16,995	11,756	69.2	1,923	16.4	11.3	1,773	15.1	10.4	1,323	11.3	7.8	823	7.0	4.8	5,841	49.7	34.4	-			73	0.6	0.4
	76.12	17,611	12,148	69.0	1,694	14.0	9.6	-			2,628	21.6	14.9	917	7.5	5.2	2,089	17.2	11.9	4,820	39.7	27.4	-		
	79.10	17,998	10,681	59.3	1,768	16.6	9.8	-			2,582	24.2	14.3	922	8.6	5.1	2,594	24.3	14.4	2,815	26.4	15.6	-		
愛川町	72.12	14,561	10,645	73.1	1,196	11.2	8.2	1,120	10.5	7.7	630	5.9	4.3	1,152	10.8	7.9	6,453	60.6	44.3	-			94	0.9	0.6
	76.12	17,072	11,815	69.2	1,367	11.6	8.0	-			2,191	18.5	12.8	1,470	12.4	8.6	1,071	9.1	6.3	5,716	48.4	33.5	-		
	79.10	18,478	15,345	83.0	1,941	12.7	10.5	-			2,675	17.4	14.5	1,696	11.1	9.2	3,590	23.4	19.4	5,443	35.5	29.5	-		
滑川村	72.12	1,954	1,562	79.9	98	6.3	5.0	203	13.0	10.4	100	6.4	5.1	49	3.1	2.5	1,104	70.7	56.5	-			8	0.5	0.4
	76.12	2,151	1,639	76.2	147	9.0	6.8	-			310	18.9	14.4	109	6.7	5.1	278	17.0	12.9	795	48.5	37.0	-		
	79.10	2,386	1,609	67.4	175	10.9	7.3	-			246	15.3	10.3	97	6.0	4.1	581	36.1	24.4	510	31.7	21.4	-		
五区計	72.12	537,522	389,375	72.4	83,173	21.4	15.5	46,310	11.9	8.6	48,454	12.4	9.0	40,112	10.3	7.5	167,832	43.1	31.2	-			3,494	0.9	0.7
	76.12	600,156	433,979	72.3	73,633	17.2	12.4	-			96,649	22.3	16.1	45,107	10.4	7.5	56,509	13.0	9.4	161,081	37.1	26.8	-		
	79.10	635,509	399,330	62.8	83,517	20.9	13.1	-			88,439	22.2	13.9	41,963	10.5	6.6	84,234	21.1	13.3	101,177	25.3	15.9	-		
県計	72.12	4,027,845	2,521,840	62.6	571,388	22.7	14.2	377,760	15.0	9.4	304,644	12.1	7.6	404,045	16.0	10.0	846,859	33.6	21.0	-			17,144	0.7	0.4
	76.12	4,413,694	2,986,288	67.7	520,720	17.4	11.8	434,017	14.5	9.8	394,118	13.2	8.9	391,644	13.1	8.8	460,801	15.4	10.4	774,603	25.9	17.5	10,385	0.3	0.2
	79.10	4,623,630	2,507,457	54.2	483,993	19.3	10.5	411,337	16.4	8.9	332,474	13.3	7.2	364,647	14.5	7.9	472,975	18.9	10.2	422,218	16.8	9.1	19,606	1.1	0.4

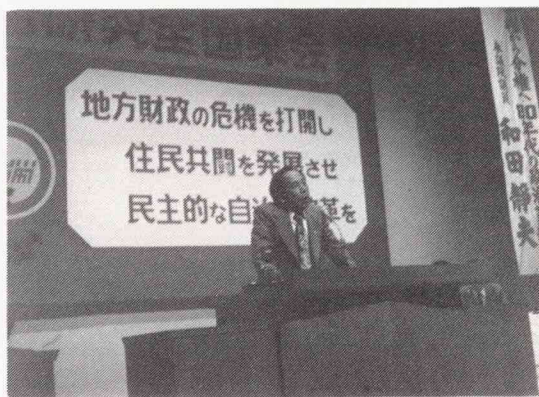
行政区	種別	総数			社会			公明			民社			共産			自民			新自			その他		
		有権者数	有効投票	有効得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率	得票	得票率	絶対得票率
県	75.4 県会	4,178,924	2,772,307	66.3	648,833	23.4	15.5	279,883	10.1	6.7	213,550	7.7	5.1	354,259	12.8	8.5	913,846	33.0	21.9	-	-	-	361,936	13.1	8.7
	76.12 衆	4,413,694	2,986,288	67.7	520,720	17.4	11.8	434,017	14.5	9.8	394,118	13.2	8.9	391,644	13.1	8.8	460,801	15.4	10.4	774,603	25.9	17.5	10,385	0.3	0.2
	77.7 参	4,453,853	2,625,259	58.9	468,135	17.8	10.5	415,243	15.8	9.3	269,724	10.3	6.1	243,843	9.3	5.5	507,247	19.3	11.4	224,396	8.5	5.0	185,912	11.8	7.0
	79.4 県会	(4,081,416) 4,507,973	2,193,586	(53.7) 48.7	456,952	20.8	(11.2) 10.1	252,189	11.5	(6.2) 5.6	219,897	10.0	(5.4) 4.9	198,660	9.1	(4.9) 4.4	586,381	26.7	(14.4) 13.0	269,754	12.3	(6.6) 6.0	209,271	9.6	(5.1) 4.6
	79.10 衆	4,623,630	2,507,457	54.2	483,993	19.3	10.5	411,337	16.4	8.9	332,474	13.3	7.2	364,647	14.5	7.9	472,975	18.9	10.2	422,218	16.8	9.1	19,606	1.1	0.4
横浜	75.4 県会	1,735,142	1,095,119	63.1	293,721	26.8	16.9	130,812	11.9	7.5	88,423	8.1	5.1	163,383	14.9	9.4	371,621	33.9	21.4	-	-	-	47,159	4.3	2.7
	76.12 衆	1,820,162	1,160,299	63.7	221,263	19.1	12.2	195,537	16.9	10.7	161,811	13.9	8.9	156,013	13.4	8.6	176,009	15.2	9.7	247,846	21.4	13.6	2,820	0.3	0.1
	77.7 参	1,834,278	1,064,780	58.1	195,181	18.3	10.6	171,051	16.1	9.3	114,407	10.7	6.2	102,779	9.7	5.6	192,093	18.0	10.5	84,395	7.9	4.6	122,726	11.5	6.7
	79.4 県会	1,849,307	926,067	50.1	218,236	23.6	11.8	122,933	13.3	6.6	103,234	11.2	5.6	110,604	11.9	6.0	275,498	29.8	14.9	74,561	8.1	4.0	21,001	2.3	1.1
	79.10 衆	1,887,411	955,672	50.6	186,483	19.5	9.9	173,180	18.1	9.2	149,795	15.1	7.9	145,005	15.1	7.7	182,934	19.1	9.7	107,128	11.2	5.6	11,147	1.2	0.6
川崎	75.4 県会	661,445	463,121	70.0	134,080	29.0	20.3	63,558	13.7	9.6	27,315	15.9	4.1	71,758	15.5	10.8	165,033	35.6	25.0	-	-	-	1,377	0.3	0.2
	76.12 衆	693,096	462,199	66.7	71,318	15.4	10.3	85,225	18.4	12.3	70,318	15.2	10.1	74,501	16.1	10.7	55,544	12.0	8.0	101,593	22.0	14.7	3,219	0.7	0.5
	77.7 参	696,838	410,549	58.9	70,965	17.3	10.5	75,593	18.4	10.9	24,393	5.9	3.5	52,023	12.7	7.5	74,540	18.2	10.7	27,689	6.7	4.0	54,003	13.2	7.8
	79.4 県会	(544,662) 688,730	333,981	(61.3) 48.5	86,793	26.0	(15.9) 12.6	57,694	17.3	(10.6) 8.4	19,095	5.7	(3.5) 2.8	48,862	14.6	(9.0) 7.1	80,939	24.2	(14.9) 11.8	38,689	11.6	(7.1) 5.6	1,909	0.6	(0.4) 0.3
	79.10 衆	707,825	360,866	51.0	65,750	17.7	9.3	73,722	20.4	10.4	45,886	12.6	6.5	71,319	19.8	10.1	51,094	14.2	7.2	51,598	14.3	7.3	3,497	1.0	0.5
横須賀	75.4 県会	261,414	188,290	72.0	43,636	23.2	16.7	22,220	11.8	8.5	30,025	15.9	11.5	13,483	7.2	5.1	78,926	41.9	30.2	-	-	-	-	-	-
	76.12 衆	274,984	202,300	73.6	25,245	12.5	9.2	29,279	14.5	10.6	36,098	17.8	13.1	16,817	8.3	6.1	38,048	18.8	13.8	55,853	27.6	20.3	960	0.5	0.3
	77.7 参	277,523	157,990	56.9	23,739	15.0	8.6	25,305	16.0	9.1	25,155	15.9	9.1	10,388	6.6	3.7	33,981	21.5	12.2	9,143	5.8	3.3	21,986	13.9	7.9
	79.4 県会	281,764	163,949	58.2	36,308	22.2	12.9	22,929	14.0	8.1	30,907	18.9	11.0	9,601	5.9	3.4	41,985	25.6	14.9	22,219	13.6	7.9	-	-	-
	79.10 衆	287,976	164,468	57.1	23,324	14.2	8.1	27,263	16.6	9.5	28,299	17.2	9.8	17,046	10.4	5.9	32,494	19.8	11.3	34,712	21.1	12.1	1,330	0.8	0.5
藤沢	75.4 県会	174,796	113,919	65.2	19,150	16.8	11.0	14,894	13.1	8.5	10,883	9.6	6.2	15,094	13.2	8.6	15,443	13.6	8.8	-	-	-	30,778	27.0	17.6
	76.12 衆	183,222	124,558	68.0	24,708	19.8	13.5	21,816	17.5	11.9	-	-	-	20,217	16.2	11.0	21,729	17.4	11.9	35,636	28.6	19.4	452	0.4	0.2
	77.7 参	185,158	107,574	58.1	19,917	18.5	10.8	15,016	14.0	8.1	10,269	9.5	8.1	9,419	8.8	5.1	21,102	19.6	11.4	11,721	10.9	6.3	12,056	11.2	6.5
	79.4 県会	190,084	102,120	53.7	13,823	13.5	7.3	14,908	14.6	7.8	10,435	10.2	5.5	10,761	10.5	5.7	15,419	15.1	8.1	15,723	15.4	8.3	21,051	20.6	11.1
	79.10 衆	196,263	106,499	54.3	23,743	22.3	12.1	24,288	22.8	12.4	-	-	-	17,887	16.8	9.1	19,171	18.0	9.8	20,697	19.4	10.5	713	0.7	0.4
相模原	75.4 県会	229,208	152,736	66.6	27,132	17.8	11.8	19,840	13.0	8.7	15,982	10.5	7.0	16,361	10.7	7.1	48,516	31.8	21.2	-	-	-	24,905	16.3	10.9
	76.12 衆	249,999	178,907	71.6	32,333	18.1	12.9	32,837	18.4	13.1	-	-	-	25,153	14.1	10.1	41,417	23.2	16.6	46,344	25.9	18.5	823	0.5	0.3
	77.7 参	254,685	148,387	58.6	27,653	18.6	10.9	24,376	16.4	9.6	14,405	9.7	5.7	12,996	8.8	5.1	27,669	18.6	10.9	13,960	9.4	5.5	16,423	11.1	6.5
	79.4 県会	265,046	140,530	53.0	13,777	9.8	5.2	19,654	14.0	7.4	18,517	13.2	7.0	13,825	9.8	5.2	42,685	30.4	16.1	14,678	10.4	5.5	17,394	12.4	6.6
	79.10 衆	272,006	153,732	56.5	30,508	19.8	11.2	37,127	24.2	13.6	-	-	-	21,699	14.1	8.0	35,787	23.3	13.2	27,763	18.1	10.2	848	0.6	0.3

()内は無投票区の有権者を除いたもの

自治研全国集会終る (詳細は月刊自治研で特集されます)



(全体集会会場入口で)



(総括集会で感想をのべる守屋さん=横須賀市職)

編集後記

□ 11月21日から3日間、仙台市で開催された「日本社会党自治体政策研究第14回全国集会」に参加。全体集会の記念講演では、大内秀明東北大学教授が「80年代は女性の時代である」となんとも頼もしい発言！ この「女性礼賛論」に男性議員さんは真っ青だったとか……。

ともかく、80年代の地方の時代を切り拓くために、議員も自治体労働者も、地域で職場で奮起したいものです。 (桜井)

□ 川崎市職の仲間が「川崎地方自治研究センター」を設立し、11月22日、その記念レセプションが催された。100名を超す参加者で盛会であ

った。伊藤川崎市長が感慨深げに「自治研活動が第1次地方財政危機を契機に開始されてもう20年になる。市民に開かれた研究センターとなしてほしい」と挨拶したのが印象的であった。自治研仲間の活躍を期待したい。

□ 全国自治研(宮崎集会)が無事終了。17分科会の中で企画財政に約800名が集中した。各論から政策提起へのうごきが始まったのか、そのうみの苦しみなのか、何か模索中なのであろう。分科会の組立ても今後議論されるといわれているが、地方の時代の実践であってほしい。

□ 12月2日から自治労・都市交・全水道の都市問題調査団の一員としてヨーロッパ6都市を訪れることになった。また留守をしますが、どうぞよろしく。 (上林)

1979年11月25日発行

自治研かながわ月報 第26号 (1979年11月号)

発行所 神奈川県地方自治研究センター
発行人 広田武治 編集人 上林得郎 定価 1部 200円
〒231 横浜市中区本町1-7 東ビル 5F ☎ 045(201)1211~3
振替口座 労働金庫本店 1365-100982 横浜銀行市庁舎支店 317-844970

自治研かながわ月報第二六号一九七九年（昭和五十四年）十一月二十五日発行（毎月二十五日発行）定価一部二〇〇円
発行所／神奈川県地方自治研究センター
横浜市中区本町一ノ七
東ビル五階
〇四五（二〇一）一二一三

印刷所／有限会社
編集人／上林得郎
横浜プリン

会員になるには

1. 誰でも会員になれます。
2. 申込書は自治研センター事務局または自治労県本部にあります。会費月300円の半分または1年分をそえてお申し込みください。（80年1月以降は400円となります。）
3. 詳細は自治研センター事務局 ☎045 (201) 1211, または自治労県本部 ☎045 (681) 7821 へご連絡ください。

会員の特典

1. 自治研センターの「自治研かながわ月報」が毎月送られます。
2. 「月刊自治研」（自治労本部自治研推進委員会発行・A5判・120～150ページ定価350円）が毎月無料で購読できます。
3. 自治研センターの資料集が活用でき、調査研究会などに参加できます。